

## 高岡市総合計画審議会 第1回総会 会議要旨

日 時 令和7年8月20日（水） 午後5時～午後6時15分  
場 所 高岡市役所8階802会議室  
出席者 別紙のとおり

### 1 開会

### 2 市長あいさつ

#### 《出町市長》

委員、参与、アドバイザーの皆さまには、お忙しいなか、ご参画いただき感謝申し上げます。

本市では、長期的な市政運営の基本指針である高岡市総合計画に基づき、効果的、効率的な政策・施策の展開の推進に取り組んでいるところである。現在の第4次基本計画策定からこの間、勝興寺の国宝指定、北陸新幹線の金沢・敦賀間開業など、これまでの取組が実を結び、本市を取り巻く流れが大きな転換期を迎えようとしている。

一方で、全国的な課題として、少子化に伴う人口減少が加速化しており、地域経済の活性化や人材の確保、医療・福祉サービス等の維持が大きな課題となっている。また、令和6年能登半島地震をはじめ、激甚化・頻発化する自然災害、環境問題の進行など、市民生活や地域経済に大きな影響を与える課題にも直面している。

このような社会経済情勢の変化や、時代の潮流への的確に対応していかなければならない。委員の皆様には、総合計画の策定について十分にご審議いただき、元気な高岡、明るい高岡を皆様と一緒に作っていききたい。

### 3 議長あいさつ

#### 《藪中議長》

高岡市総合計画審議会の第1回総会が開催されるにあたり、参画いただいている皆様には感謝申し上げます。

本審議会は、高岡の総合計画について様々な立場の方に参画いただき、進捗状況の調査や妥当性の検証等を行い、より良い計画とするための役割を担っている。市民の皆様が安心して暮らせる持続可能なまちづくりを実現するためにも、皆様方には慎重に審議いただき、ご意見やご提案を賜りたい。

#### 4 会長の選出(互選)、あいさつ

##### 《塩谷会長》

今回の高岡市総合計画の策定にあたっては、各団体から推薦いただいた方、公募で審議会にご参加いただいた方など、計46名の委員、参与及びアドバイザーの方にお集まりをいただき、幅広い観点からの審議ができるものと考えている。

近年、北陸新幹線の金沢・敦賀間開業や大阪・関西万博の開催によって、北陸の地域資源が注目を集めています。この機会を逸することなく高岡の魅力を多くの方に知っていただけるよう、出町市長におかれましては、これから先頭に立ち高岡を引っ張っていただきたいと思います。

一方で、高岡の人口が17万人を下回り、改めて顕在化した人口減少と急速な高齢化の影響は、地方で暮らす我々に特に重くのしかかってきている。このような中、高岡市の目指すべき姿、この人口減少と地域経済の縮小をいかにして克服していくかを明らかにし、このまちで生きる豊かさやゆとりを実感できるよう、一人ひとりが真剣に向き合う必要がある。

その意味でも、総合計画を審議する本審議会の使命は極めて重要であり、今後、皆様方のお力添えにより、この重責を果たして参りたい。

#### 5 副会長の指名、あいさつ

##### 《宮田副会長》

これまで、保育、教育、福祉等の連携を通して、支え合ってともに生きる地域社会のあり方について、研究、教育活動に取り組んでまいりました。愛するふるさと高岡の未来のため、皆様とともに大変重要な役割を担わせていただくことに、大きな責任を感じている。

皆様の貴重なご意見を賜りながら、計画策定に向けて、微力ではございますが、精一杯努めてまいります。

##### 《炭谷副会長》

第4期基本計画から総合計画に関わらせていただいていた。市民が幸せに暮らしていくための計画の策定にあたって、総合計画審議会には大きな責任があると感じており、できることは一生懸命やらせていただきたいと思いますと考えている。

市民一人ひとりが、我が事として、高岡市をどのようにしていくのか考え、主体的に行動できるまちになっていったらいいと思っている。

##### 《角玄副会長》

総合計画審議会には、様々な立場の方にご参画いただいている。それぞれの立場からの知見をいただきながら、一緒に今後10年の高岡市について考えていきたい。

#### 6 高岡市長から高岡市総合計画審議会会長へ諮問

##### 《出町市長（諮問書読み上げ）》

急速な人口減少や激甚化する自然災害、デジタル化の進展など、本市を取り巻く社会経済情勢の変化に対応し、総合的かつ計画的な行政の運営を図るため、高岡市附属機関に関する条例に基づき、まちづくりの指針である高岡市総合計画の策定について、諮問する。

## 7 議事

- (1) 総合計画の策定について
- (2) 部会の設置について
- (3) 部会長の指名について
- (4) 各委員の所属部会について
- (5) 意見交換

### 《塩谷会長》

各委員の皆様には、12の目指すまちの姿を推進するために大切にすべき考え方や、各政策分野における施策の展開、今後、各専門部会で検討すべき視点などについて、ご意見をいただきたい。本日は、全委員が出席されている第1回目の総会であり、専門部会の枠にとらわれず、ご発言いただきたい。

### 《委員》

生涯教育の分野について、高齢者の方々の学ぶ機会があればよいと思っている。いろいろな自治体でも取組みがあるので、良いものは取り入れるなど考えていただきたい。

### 《委員》

全ての分野で重要だと思うのが、人づくりの視点だと思います。それぞれの分野を担う人づくりについてどのように取り組むか。10年、20年継続的に育成していくような計画を考えていきたい。

ある程度年齢を重ねてからも働き続ける、もしくは社会に貢献できる、という社会を形成していくことが必要ではないか。例えば、にぎわい部会では高岡市の観光について提案できる人材を作っていきたい。みらい部会では、医療・福祉の働く人をどのようにつくっていくか、教育の環境を守る取り組みなどが必要だと感じている。次の時代に向けた人づくりを考えていきたい。人をつくっていくことが、住みたいまちになるのではないか。

### 《委員》

地域で子どもを育てていこうと、6年前から地域で部活動に取り組んでいるが、まだまだまだ十分に実施できていないと感じている。これから学校教育だけではなく、地域で子どもを育てる、という意識が非常に大事になっていくと思う。地域の絆が広がることで地域コミュニティも守られていくのではないか。

### 《委員》

災害復旧は大変重要なことだと思っているが、それ以外のインフラの整備についてもしっかり考えていかなければいけない。10年後には、いろいろなものを作り直さなければいけない時期がきている。マンパワーがないと直すことができない。人づくりは重要なことだと思う。

#### 《委員》

総合計画 10 年間の計画ということであるが、現在の高岡市の人口は大体 16 万であるが、全国的にも人口減少が加速している。減っていく人口をどうやって増やすのか、どこから取ってくるのか、という考え方もあるが、日本中で減っていくということをしっかり考え、人口規模を見据えた都市の在り方についてゼロベースで議論を行う必要があるのではないかと思う。

総合計画の策定を考えるにあたって、人口が減っていくなかで、さらに住みよい高岡になるといいというビジョンがみんな描けるといいなと思っている。

#### 《委員》

医療の分野で大事なところは、救急医療体制かと思っている。しかし、人口がどんどん減っていくなかで、医療従事者も減っているのが現実である。高岡だけでは、救急医療、特に小児科の救急医療の維持が難しくなっていており、医師会でももう少し広域での救急体制を確立していかなければいけないと考えている。

この審議会が高岡市の総合計画の審議会であるが、高岡市だけのことを考えているだけでは難しいと思っており、他市との連携など、広域で考える視点も非常に重要になってくるのではないか。

#### 《アドバイザー》

人口減少が加速することで、経済活動において、後継者の不足や労働力の不足が喫緊の課題であると感じている。

空き家問題も大きな課題であり、市でも空き家バンク等、情報を集めているところであるが、安全面や衛生面など、たくさん問題を抱えている。現在空き家率は 14%程度だと思うが、どのように有効活用していくか考えないといけない。

たくさんの課題がある中で、どこにプライオリティーを持つべきなのか、今後の 10 年間で考えていくうえで、重要な視点になってくるのではないかと思う。

#### 《アドバイザー》

県においても、現在、新たな総合計画の策定を予定しているところであり、人口減少をベースに考えながら策定を予定している。その中でも、どの地域がどのように減っているのか、なぜ減っているのか、を把握するよう努めており、計画を策定される場合もそのような視点が必要であると感じる、

#### 《アドバイザー》

魅力のある高岡にするためには、若い方が集まる必要があると思っている。少子高齢化、人口減少に全国的にも歯止めがかからない状態であるが、高岡に住みたいと思われるよう、各部会でいろいろな意見を出していただければと思う。

#### 《アドバイザー》

「共創」という考え方は、第2次総合計画から踏襲されており、とても重視すべき視点であると思っている。実質的に計画の中に取り入れられる考え方として位置づけられるように検討いただけたらと思う。

#### 《アドバイザー》

今回、5年、10年の総合計画を策定されるとのことであるが、近年、世の中の技術進歩が著しく、急速に変化が進んでいる。世の中の変化を追いかけ、その変化に適応して、計画を変更していくことが重要であると感じる。常に世の中の方向を見据えて、計画に反映していくサイクルを、ぜひ取り入れていただきたい。

一方で、10年、20年後を見据えた姿を描くこともすごく大事だと思う。例えば、今年、小学校卒業する子供たちが社会に出るのは約10年後、今年生まれた子供たちが社会に出るのが20年以上後だと考えると、どのような教育を受けるべきなのか考えないといけない。予想のつかないくらい変わっているかもしれない。そのくらいのことを見据えて教育を考えていかなければいけないし、まちづくりも考えていかなければいけない。10年後、20年後をイメージしながら、将来の子供たちや今の若い人たちが活躍する社会をどのように作っていくかを意識して、計画に落とし込んでいくことが重要である。

#### 《出町市長》

人口減少は避けられないと思っている。その中でどのようにして高岡が住みたいまちになるか、笑顔で暮らしていただけるのか、人づくりが大切であると感じる。インフラの老朽化にどのように向き合っていくかも大切になってくる。

今後、新たな総合計画の策定に向け、皆様の活発なご意見で、答申をまとめていただき、10年経っても元気な高岡であるよう、高岡市民の方、そして市外の方にも、わかっていただけるような、そんなまちづくりをしたいと思っている。

会長をはじめ、委員の皆様方には、本日のご議論、心より感謝申し上げます。

## 8 閉会

(以上)